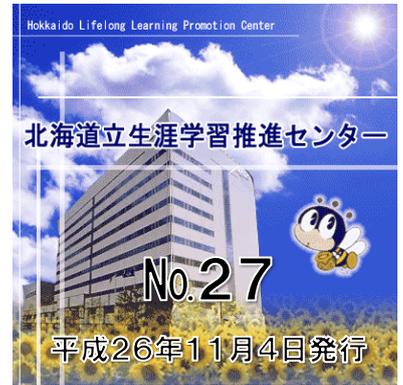


研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
 ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/



住民が主役となり地域活動へ参画する支援や仕掛けづくりを考える！

◆◆平成26年度生涯学習推進基本講座(道南会場)終了◆◆

＜研修テーマ＞「社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について」
 ～地域活動に参画する人材の育成を目指して～

平成26年10月2日(木)に函館市の渡島総合振興局を会場に、生涯学習推進基本講座(道南会場)を開催しました。渡島管内、檜山管内、胆振管内から31名の社会教育関係職員等の皆様に御参加いただき、「地域活動に参画する人材の育成」について考えました。本号では、その研修内容のポイントを紹介します。

◆研修テーマと研修の流れについて◆

住民の参画を進める手立ては？

地域活動に参画する人材育成

なぜ、住民の参画が必要なの？

＜国の動向＞

生涯学習審議会答申「学習の成果を幅広く生かす」(平成11年6月)【第4章 学習の成果を「地域社会の発展」に生かす】

- ・地域が抱える現代的課題は、住民自らが学習し、理解し、主体的に関わろうとするときに初めて最も効果的な対処が可能となる問題であり、生涯学習の成果の活用役割が大きい。
- ・行政部局のみ(自前主義)での対応では限界があり、住民やNPO等とのパートナーシップの必要が言われている。

＜道の動向＞

北海道生涯学習審議会答申「地域の教育力の向上を目指した本道における生涯学習の在り方～効果的な学習成果の活用方法の視点から」(平成21年12月)

- ・地域の教育力を向上させていくためには、自らの知識・技術・経験や学習成果を地域の中で十分に生かすことのできる環境づくり
- ・学習成果を生かす場が多くあれば、住民同士の交流の場が増え、地域における住民の連帯感や自治活動の促進を図ることができる。

「北海道教育推進計画(第4次北海道教育長期総合計画)」(平成25年～29年)

■生涯学習推進体制の整備・充実

- ・地域で生涯学習を推進する「中間支援人材(地域のリーダー等)」の資質向上を図るとともに、市町村や道立生涯学習関連施設、高等教育機関、NPO等とのネットワーク化を促進する研修講座を実施。

■社会教育活動の推進

- ・住民が地域の一員としての自覚を持ち、地域づくりの活動に主体的に参画できるよう、市町村と道が連携・協力し、地域づくりへの住民の参画・協働を促す社会教育活動を促進。

講義

「地域活動に参画する人材の育成を目指した生涯学習・社会教育の推進について」

事例発表

「住民が主役となり、地域活動に参画している実践事例をもとに各市町村等の状況について情報交流を行う」

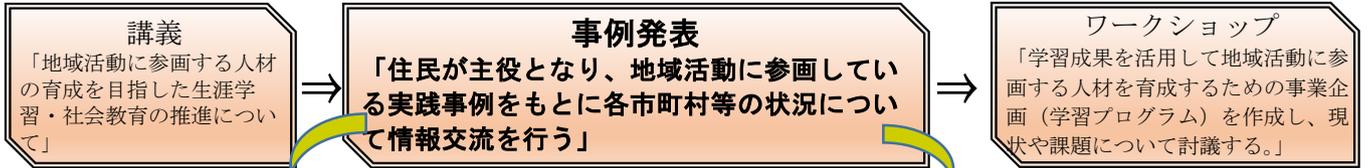
ワークショップ

「学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成するための事業企画(学習プログラム)を作成し、現状や課題について討議する。」

- なぜ「住民の社会参画」が必要なのか
 - ・国や道の動向から解説
- 「住民の社会参画」を進めるために
 - ・H26年度全道社会教育主事等研修会(まとめ)資料から住民の社会参画を促進する要素(仕組み・仕掛け)について解説

- 当センター調査研究報告書第35号から解説
 - ・学習と学習成果の活用について
 - ・学習者の行動を促す学習方法
- 住民が主体となった地域活動の事例紹介
 - ・出雲市大社地域の活性化を目指す「子ども、若者公民館活動」他

HP「生涯学習ほっかいどう」からダウンロードできます。



【発表者】
函館黒船地域活性化協議会会長 小林一輝 氏

【内容】
同会が函館市の活性化のために音楽やファッション、食をテーマに実施している野外イベント「黒船」について、若者たちが試行錯誤を重ね、民間の力や発想を生かし、6年間で約1万5000人を動員するイベントに成長した取組の様子を紹介。



～参加者の声（事業アンケートから）～

- ・若手を活動に取り込むところがすごいと感じた。
- ・会員の皆さんの地域に対する熱い思いが伝わってきた。

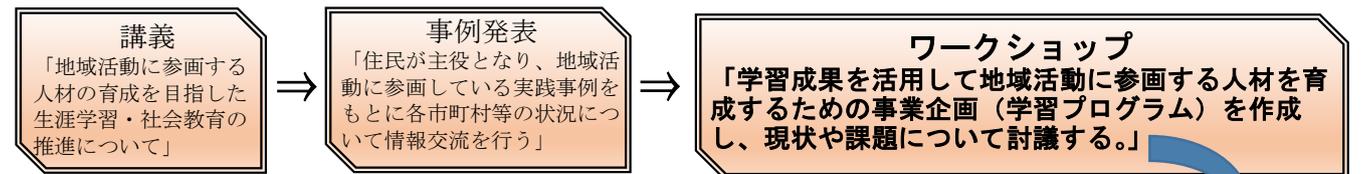
【発表者】
木古内町教育委員会生涯学習課主査 西山敬二 氏

【内容】
木古内町における青年団体と行政との関わりについて、「木古内町地域活性化団体B.O.F」の立ち上げ時の社会教育担当職員の支援内容や木古内町青年塾の取組のほか、町内の若者約40人が企画した音楽イベントの取組についての事例を紹介。



～参加者の声（事業アンケートから）～

- ・小さな自治体でもできるのだと感銘を受けた。
- ・青年教育の難しさ、楽しさが伝わる内容だった。
- ・改めて青年教育の重要性を感じた。



◆ シート活用例 ◆

	担当職員（行政）の仕掛けづくり・支援	学習プログラム（案）
（事業前）	※「キーマンとなるリーダーの発掘養成」等に関わる仕掛け、支援の内容を記入	* 事業前の仕組み・仕掛けの具体的な内容について記入
（事業実施中）	※「学びや活動の場、ネットワークの確立」等に関わる仕掛け、支援の内容を記入	事業名：【 】（新規・既存） * 新規または、既存の事業を活用し地域活動に参画する人材を育成するための事業企画（学習プログラム）を記入
（事業後）	※「長期展望に立った見守り・キーマンの支援」に関わる仕掛け、支援の内容を記入	* 事業後の仕組み・仕掛けの具体的な内容について記入

～参加者の声（事業アンケートから）～

- ・青年教育の位置付け、普及方法、アイデアを学べた。

事業企画ワークシートの記入

事業前
事業実施中
事業後

事業名：【 】（新規・既存）

※複数回実施の場合は、回ごとに記載する。※不採の場合は、裏面あり

※事業後の仕組み・セリケ

本ワークシートは、HP「生涯学習ほっかいどう」の「取組事例資料～行政職員向け～」からダウンロードできます。詳しくは、下記担当者までお問い合わせください。

●本研修会事業報告書について●

「平成26年度主催講座一覧」(<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyo/h26/index.html>)に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：本田 ☎ 011-231-4111（内線 36-324）まで御連絡ください。